

今年度最後の私の話は、「4月からの1年をどう生きていくか」についてです。

この1年間を振り返ってみると、皆さんそれぞれに色々なことがあったと思います。もちろん学校のことだけではなく、家庭でのこと、友人のこと、人それぞれ様々だったろうと思います。

今年度の初日、去年の4月8日の始業式、入学式を思い出してください。

2年生には1学期の始業式で「自分グローバル化」作戦を勧めました。

日々の英語の授業や英単語テストに限らず、夏休みの海外研修をはじめ、英検、TOEIC（トイック）、TOEFL（トーフル）などに挑戦しての英語力アップや、「青少年の主張大会」の機会での意見表明など、新しい物事にどんどんチャレンジしましたか？

十分でなかったなら、明日から16日間を最大限に活かしましょう。また、進路希望を実現させるためには、この春休みを有効に使うことも大切です。

1年生には入学式で「自分の夢や希望を少しずつ具体化させながら、易きに流れないよう充実した高校生活を送りましょう。」と話しました。

夢や希望は具体化しつつありますか？易きに流れていませんか？充実していますか？

特に部活動に加入していない人、今からでも入部しよう。途中からじゃ入りにくいなあ、なんてつまらないこと考えないで。社会に出ると、スポーツクラブの入会だって文化サークルの入会だって、大抵いつだって「途中から」だし、「一人で」入るものなのです。1年間やらなかったことを理由に、今からの1年と数カ月もやらないと決めつけるなんて、余りにももったいない。それに、今ならまだ新入生と同時入部にはならないから、先輩風を吹かせることだってできるかも知れない。ダンス部とバトン部は特別な事情があるようですが、どこの部だってそんなに人数は多くないから、きっと歓迎されます。

2年生にしても1年生にしても、「4月からの1年をどう生きていくか」、明日から16日間、色々と考えてみたり、普段できないことをどんどん試したりして、新年度スタートへの助走にしてください。

さあ、今度の1年はどんな1年にしていこうか。4月10日の始業式で、顔つきが変わった皆さんと再会するのが楽しみです。この話の続きは4月10日にします。